学校番号	３０１３

令和３年度　公民

教科	公民	科目	倫理	単位数	１＋１単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「新倫理」新訂版　（清水書院）						
副教材等	テオーリア　最新倫理資料集　新版二訂　（第一学習社）　新倫理ノート（啓隆社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

今みなさんは、「これからどのように生きていくべきか？」、あるいは「自分はどんな人間なのか」という悩みや疑問が生じているのではないでしょうか？これらの悩みや疑問に対しては、それまでみなさんが学んできたことやみなさん自身の人生経験からでは、納得のいく答えが見つからないかもしれません。みなさん以外にも、「どのように生きるのか」ということについては、太古の昔から誰もが悩み、その答えを考えてきました。「倫理」という科目は、まさに「どのように生きるのか」に対する先人からのアドバイスをまとめたもの、言わば、先人からみなさんへのメッセージをまとめたものなのです。先人たちの揺るぎない生き方に憧れたり、その反対に苦悩に苦しむ彼らの姿に安心を抱いたり、あるいは、自然や社会に対する働きを客観的に眺めたりして、上の問いに対する自分なりの回答を見つけるための学習です。

別の表現をすると、「倫理」は、光と影の両面を持つ現代社会で、豊かで充実した人生を送るために、「この私とは何か」「私はどのように生きるべきか」「よく生きるとはどのような生き方なのか」といったことについて、先人の思想を手がかりに、悩み、考え、自らの方向を定めていくことを大切にしています。すなわち、「倫理」は、自分らしく生きることをめざした学習なのです。

２ 学習の到達目標

自分の人生に興味・関心をもち、生き方を主体的に考えることができる。

先人のアドバイス・考え方を参考にしながら、自分の生き方を考え、現代社会の諸課題につい判断することができる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	関心・意欲・態度 先人の思想や生き方、自分自身がどのようにあるかについて関心を高め、自分らしい自分になるために行動する意欲を持つと共に、これらにかかわる諸課題について、自分や他者、社会との関わりから学び考える態度を身に付けているか。	思考・判断 これまで身に付いている知識や他者からの意見などを自分なりに結びつけ、そこから何が得られるのか想像し、自分の納得のいく解答が導き出せているか。	技能・表現 資料をメディアや文献等を通して収集し、必要な情報を取捨選択し、まとめることができているか。また、発表の場面では、他者の意見も尊重しつつ、自分の言葉で発表できているか。	知識・理解 先人の思想や現代社会の特質についての基礎・基本的な知識を理解し、自らの人生観・世界観を形づくるための知識として身に付けているか。
評価方法	授業中の発問 授業態度 レポート	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート。	定期考査

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	人間としての自覚と生き方	第２章 人間としての自覚 ①哲学と人間 １ 哲学すること ２ ギリシャの思想 ※ヘレニズム時代の思想	○	○	○	○	a古代ギリシアの人間の行き方･興味関心の方向に興味をもつ bソフィスト、ソクラテスを比較できる ソクラテス、プラトン、アリストテレスを比較できる また考えること･哲学することの意義を考え、先人の生き方・考え方から、いかに自分が生きるべきかについて考える。 ｃソクラテスの弁明・クリトン等基本資料が読める ｄ古代ギリシャの自然哲学、ソフィスト、ソクラテス、プラトンやアリストテレスの思想を、理解する。	abcdについて 定期考査 学習活動 発問発表 提出課題 小テスト ノート提出

		②宗教と人間 １　宗教をどう考えるか ２　キリスト教 ３　イスラム教 ４　仏教 ■仏教とキリスト教の相違 ③人生の知恵中国の思想 １孔子と儒家の思想 ２儒教の展開 ３道家の思想	○	○	○	○	a聖書の文言から、イエスの説く教えとはどのようなものかを実感する。 メッカの方向を調べるなどして、イスラム教の基本的教義（六信・五行）を実感する。 陰陽五行や風水など、身近なものにも中国の思想との関わりがあることを知り、中国の思想に対する興味・関心を高める。 b世界で起こっている宗教を原因とする争いを調べ、宗教とは何かについて考える。 イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。 日本における仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかについて考え、まとめる。 孔子の説く仁及び仁の発露としての礼について考える。 孟子の四端説や荀子の偽の考えなど、儒家が人間をどうとらえたかに着目する。 中国の思想が歴史的に日本に大きな影響を与えたものであることを理解し、私たちの現在にどのようにかかわっているかを調べ、まとめる。 ｃ各原典資料を読むことができる dイスラム教の成立、宗教的な義務と戒律を中心とするその教えの特徴について理解する。 dブッダの悟りの中核とされる中道･四諦八正道・縁起の法について理解する。 d 道家の思想が儒家の批判の上に立つことを踏まえて理解する。	abcdについて 定期考査 学習活動 発問発表 提出課題 小テスト ノート提出

後期	現代社会と倫理	①人間の尊厳 1　人間尊重へ向けて 2　合理的精神の確立 3　社会契約説 4　人格の尊厳～カント～	○	○	○	○	aベーコンやデカルトによる科学的な考え方の特色を理解し、科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。 ｂ人間の尊厳や自由にかかわる先人の思想に考えをめぐらし、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかについて考える。 b経験論と合理論の考え方の特色はどこにあるのか、自分の課題とつなげて理解する。 カント・ヘーゲルらの思想について整理し、理解する。 近代ヨーロッパの社会契約論をとおして、民主社会の成り立ちを理解し、民主社会を実現した社会契約の思想について、多面的・多角的に理解する。 c原典資料の言わんとするとこが理解できているか dカントが人間の理性能力を吟味し、理性の限界を明らかにしようとしていたことを理解する	abcdについて 定期考査 学習活動 発問発表 提出課題 小テスト ノート提出
		②民主社会への倫理 1　ヘーゲルの人倫の思想 2　功利主義 3　社会主義思想 ※プラグマティズム	○	○	○	○	aヘーゲルの弁証法的なものの見方、及び弁証法に基づく「人倫」の捉え方について理解する。 bベンサムとミルの幸福に対する考え方の違いについて理解する。 b社会主義の生まれた背景とその発展過程、現代の社会主義の実態について考える。 cベンサム、ミルの主張を原典で理解する dプラグマティズムでは、思想や知識の意味、価値を現実的な有用性においていたことを理解する	abcdについて 定期考査 学習活動 発問発表 提出課題 小テスト ノート提出

		④新たな人間像の模索 １　主体性の回復をもとめて ２　現代の実存哲学 ３　フランクフルト学派 ４　構造主義 ※分析哲学	○	○	○	○	a先人の思想を振り返りながら、私たちの社会はどうあるべきか。自己の生き方はどうすればいいのかについて考え、まとめる。 ｂ主体的自己の確立とはどういうことかについて考える。 ｂ実存主義、フランクフルト学派、構造主義の問題意識を考える ｃ原典にあたり言わんとするポイントを理解する ｄキルケゴールの単独者やニーチェの超人の思想について理解する ｄ実存主義、フランクフルト学派、構造主義の考え方を理解する	abcdについて 定期考査 学習活動 発問発表 提出課題 小テスト ノート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解